

大山崎ふるさと
ガイドの会だより

第157号

発行日 令和元年 11月 10日

発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)

発行責任者 澤田 僚 一

連絡先 大山崎町歴史資料館内

TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289

URL <http://www.kyoto-ofg.org/>



大山崎町重要文化財ネットワークです！

大山崎町重要文化財ネットワーク 事務局長 寺嶋千春



大山崎町には現在、国宝1件、重要文化財13件（有形文化財）があり、その所在は自玉手祭来酒解神社、宝積寺、大念寺、聴竹居、妙喜庵、離宮八幡宮の6ヶ所です。最も桂川に近い離宮八幡宮から天王山麓の宝積寺まで、およそ500m足らずの距離で、天王山山頂近くの自玉手祭来酒解神社を除く5カ所は徒歩20分以内という位置関係です。このように大山崎町は国内でも有数の文化財の宝庫であり、近年は外国からの観光客も増えています。また多くの見どころを徒歩で廻ることができるという特徴があります。本町は、ふるさとガイドの会の皆さまが活躍されるにはうってつけの立地環境といえると思います。

一方、文化財の所有者・管理者にとっては、高い理想を保ちながら代々受け継がれてきた「かけがえのないもの」をまもり、次の世代に手渡すという仕事に携わっていますが、その責任は重く、物理的にも経済的にも気持ちの上でも少なからぬ負担となっています。

私は長年、文化財行政の末端にいて、所有者の皆さまが求めていることがなにかを理解し、それをよりよいかたちで前進させるお手伝いがしたいと務めてきました。

その仕事に携わるなかで気が付いたことのひとつが、同じ立場にある文化財の所有者・管理者が日常的に情報を交換したり話し合う機会がないことでした。情報は常に

一方通行です。全国的には「全国国宝重要文化財所有者連盟」があり、京都府には「京都府文化財所有者等連絡協議会」がありますが、地元の所有者等が緊密に交流する機会がほとんど無いのが現状です。そこで大山崎町の国宝・重要文化財所有者・管理者で構成する「大山崎町重要文化財ネットワーク」の設立を提案しました。

平成30年春、設立の呼びかけに応じていただいた所有者・管理者の皆さまとともに準備をすすめ、7月に正式に設立しました。当会の概要は以下の通りです。

<目的>

(1) 貴重な文化財を受け継ぎ、日々の管理を担う会員が必要な情報を得、それを活用するための理解を深めること。

(2) 文化財を維持管理するにあたって生じる種々な課題について相談することができる場を作ること。

(3) 会員相互が連携し、大山崎町の文化遺産を広く社会にむけ発信し、その真の価値を周知すること。

<会員>

大山崎町に所在する国宝・重要文化財(有形文化財)の所有者・管理者等

<事務局>

京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字谷田 31 番地
重要文化財 「聴竹居内」

大山崎町重要文化財ネットワークは、まだ歩き始めたばかりです。今後は文化財保存に関わる諸団体、各分野の方々から多くのことを学び、連携を深めて交流の場をつくることで、さらにその輪を広げていきたいと考えています。実績と経験豊富な貴会の皆さまのご協力・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

9月10日～11月9日までの活動実績

| | |
|-----------------------------|------|
| 1. 主なガイド | |
| ・9月12日(木) 福知山観光ガイドの会 | 11名 |
| ・9月16日(月) 神戸須磨高倉台悠遊クラブ | 32名 |
| ・9月17日(火) 備中高松城公園資料館 | 46名 |
| ・9月18日(水) シャープ(株)歴史探訪の会 | 18名 |
| ・10月1日(火) いきいきサロン南の会「出前ガイド」 | 11名 |
| ・10月10日(木) 鏡田おしゃべり会「出前ガイド」 | 18名 |
| ・10月19日(土) 秋の天王山ウォーキング | 146名 |
| ・10月26日(土) 大山崎町政策総務課企画観光係 | 17名 |
| ・10月29日(火) 五箇荘郷土史研究会 | 24名 |
| 2. 会の行事など | |
| ・9月18日(水) 学習会「平安京創生館」と元本能寺 | 34名 |
| ・9月30日(月) 「あちこち学習山歩」八木城跡 | 13名 |

活動予定

| | |
|-----------------------------|----|
| 主なガイド、行事予定 | |
| ・11月11日(月) 南山大学イスパニア科<同窓会> | 2班 |
| ・11月14日(木) うれしの21会(日本エース観光) | 2班 |
| ・11月17日(日) 長岡京市スポーツ推進委員協議会 | 2班 |
| ・11月18日(月) 久御山町教育委員会 | 3班 |
| ・11月20日(水) 36歩く会 | 3班 |
| ・11月24日(日) 山陽バストラストツアー(他3回) | 全班 |
| ・11月29日(金) 山南町歴史探訪友の会 | 全班 |
| ・11月30日(土) 乙訓退職校長会 | 4班 |
| ・12月14日(土) 大山崎町政策総務課企画観光係 | 2班 |
| ☆ 大山崎町歴史資料館 第27回企画展 | |
| 10月19日(土)～12月1日(日) | |
| 「国衆から見た光秀・藤孝」一丹波・乙訓と織田権力一 | |

9～10月ガイド実績

| | 一般ガイド | | 歴史資料館 | | おおやまざき・なび | | 合計 | |
|---------|-------|--------|-------|--------|-----------|------|------|--------|
| 9～10月 | 18件 | 426人 | 168件 | 409人 | 25件 | 67人 | 211件 | 902人 |
| 令和元年度累計 | 65件 | 1,805人 | 618件 | 1,428人 | 102件 | 254人 | 785件 | 3,487人 |

秋の天王山ウォーキング 令和元年・秋



10月19日(土)、「秋の天王山ウォーキング」は降水確率90%の天気予報で始まった。

前日来の雨で足元はぬかるんでいたものの雨具が必要なほどの雨に降られることもなく無事にサントリーブルワリーで乾杯することができました。

私達の3班は小学生4名を含む3家族10名の参加者でした。リーダー、サブは、共に9期生なのでどうなることやら?と思いながら離宮八幡宮、関大明神へ。更に宝積寺へ登って行きました。

閻魔堂では分かりやすい案内に熱心に耳を傾けた後、小学生たちもはりきって山登りへと駆け上がって行きました。

元気な子供たちは虫を探がしたり、歩きにくいところをワザと選んで歩くワイルド坊や達でした。それもそのはず3回目の参加だとか!!!

青木葉谷の展望台では曇天とは思えないほどの眺望

で、あべのハルカスが見え、旗立松展望台では地学・地理研クラブの参加者(高校生)の地形の説明を聞いたりしました。

十七烈士の墓、酒解神社とスムーズに進み、9期生ではガイドの内容も少ないのでいつの間にか先発班を追い抜いて真っ先に頂上に着いてしまいました。

おなかペコペコの子供たちも我々もそれぞれにお弁当やおやつを食べたりインスタ映えする写真撮影をしたりして楽しく過ごしました。

下山する頃には霧がでたり、お日さんがでたり、奥の山展望台でも眺望が良くて若いママさん達にも感激してもらいながら一路、小倉神社へ向かいました。

参加者の皆様が今年の台風で倒れた木々の後片付けや整備に関心を持たれて「大山崎のボランティアの方々の復興への努力は頭が下がる思いだ」とおっしゃっていました。

今年も、中部地方から東北にかけて甚大な被害をもたらしています。前線や低気圧の影響で、今までにない被害を及ぼす気候になってきたようですが、来年もたくさんの方々が「天王山ウォーキング」に参加して頂けることを願っています。(4班 久保 恵子 記)

会員学習会 「平安京創生館」見学と元本能寺界隈探訪に参加して



9月18日(水)、先ず千本丸太町で、朝堂院跡と大極殿跡の話聞き、その後創生館でとても大きく精巧なジオラマを見ながらボランティアガイドの説明聞き、思いは平安京の時代へと遡って行きました。

平安京は計画都市で、きれいな碁盤の目の通りと建物が並んでいて、通り内区画を「町」、4町で「保」、4保で「坊」と呼んでいました。その平安京も応仁の乱の戦火や武将による放火などでダメージを受けました。ジオラマには各時代で栄えたものが置かれていて、最終的には右京は寂れ朱雀大路を境に左京のみが栄えていたと聞きびっくり。

最後は二条殿跡から元本能寺跡等を見て終わりましたが、普段京都市内を歩いてもつい見逃してしまう所に「此の付近・・・址」と書かれた碑が沢山あって京都が歴史の町であり、その歴史をみんなが大事に守っていると感じながら有意義な1日を過ごしました。(1班 鈴木 工 記)

雑感

天王山は眺望に恵まれた山、山崎は風光明媚な地で、古来より離宮等が建てられていた。青木葉谷広場からは和泉山脈が見え、富田林のPL大平和塔が見える。眼下にノコギリ形屋根の工場が見えるが、かつて日紡山崎の工場、最盛期は3500人も従業員が働き、女子バレーボールのチームは強かった。

旗立松展望台からは京都東山の音羽山から南山城の三上山が見える。奥まった鷲峰山には山岳宗教の修験場が置かれているし、喜撰山の東側には深夜の余剰電力を使った揚水式発電所が設けられた。川向こうの京阪電車線は明治43年に開通し淀川や木津川の流れに直角に橋梁が掛けられ明治初頭の建設技術の悩みを垣間見る。

山からの眺望は樹木が成長して悪化する。自然保護はやはり可能な限り整備を続け眺望を保って欲しいものだ。

(澤田 僚一 記)

歴史講演会 「光秀最期の地 小栗栖」



9月16日(月)ダイゴリア代表谷口拓氏の講座を拝聴しました。

まず最初に明智光秀の人となりや足跡を講義されました。次に山崎の合戦に敗れた後の敗走ルートや小栗栖での最後の様子などを、色々な資料や古文書を基に研究されています。

現代に起こる種々の事件でも迷宮入りすることもあると言うのに、400年以上も前に起こった事を研究され、より真実にせまっていくという醍醐味を実感しました。主君に刃をむける、又は向けざるをえなかった光秀の心理や親族としての立場など、当時に思いをはせ、興味深く受講させて頂きました。

“主殺し”の悪人(逆賊)という固定観念があり、又他方革命児信長に対し、常識人というイメージもあって、江戸時代歌舞伎や人形浄瑠璃の題材になることも。来年の大河ドラマ「麒麟がくる」で主人公に取り上げられています。

はたしてどの様な人物像に描かれるのか?興味深いですね。(2班 小西 弥生 記)

SKYふれあいフェスティバルに出展



9月14日(土)・15日(日)の2日間、今年も京都パルスプラザで「SKYふれあいフェスティバル2019」が開催され、OFGも日頃の活動をPRするため活動状況パネルを展示多数の来場者に見学してもらい、イベント等への参加を勧誘しました。

本年度は2日間とも晴天に恵まれ、全体で約16,000人の来場者があり、生涯学習展示コーナーへは昨年より若干減少しましたが、757名の多数の見学者がありました。

この展示物は11月3日(日)、「文化のつどい」でも展示を行い、町民の方にOFGの活動を理解いただきました。

(広報委員会 記)